

台風の忘れ物

箱根ビジターセンター

台風 25 号は本州に強い雨と風をもたらして縦断しました。そして 1 週間後には、塩害で電車が止まったり停電したりしました。自然界に与えた影響は如何だったのでしょうか。箱根ビジターセンターの周辺を見てみました。

針葉樹にはあまり影響が見られませんでした。広葉樹の風が当たった面では葉がちぎれて飛んだり、くしゃくしゃにもまれたり、白茶けた色になり枯れた物が多く見られました。平地の背の高いイチョウの木では、海側の葉だけが枯れていました。早川の谷沿いでは、ホオノキの大きな葉が下流側だけ枯れているのが目立ちました。また、桜はほとんど葉を落としていましたので、思わぬときに桜見物が出来るかもしれません。(上妻)



【イベント案内】

秦野ビジターセンター

ミニ安全登山教室「はじめての地図読み」

内容: 登山を安全に楽しむために、地図の読み方とコンパスの使い方を学びます。

内容を2回に分けて実施(初心者対象)

実施日: ①地図の読み方編: 2019年1月26日(土)

②地図とコンパス編: 2019年2月23日(土)

時間: 9:30~11:30 場所: 秦野ビジターセンター2階(とその周辺)

募集人数: 各回15名(高校生以上)※先着順 参加費: 1人500円(保険代・資料代込)

雨天決行(屋内のみで実施)

【申込方法】12月1日から電話にて受付(受付時間9:00~16:30)。行事名(①又は②又は両方)、参加者全員の氏名とおよその年齢、代表者の電話番号をお伝え下さい。

巡回展示「丹沢山麓イキモノ撮影記～センサーカメラを仕掛けたら～」

共催: 秦野ビジターセンター、西丹沢ビジターセンター

内容: 丹沢山麓にしかけたセンサーカメラに写った野生動物の姿を紹介。意外と身近にすんでいるイキモノたちの姿をのぞいてみよう。

≪巡回会場・開催期間≫

県立相模原公園 サカタのタネグリーンハウス2階

2018年11月6日~11月25日 休館日: 毎週月曜日(祝日開催)

県立七沢森林公園 森の民話館

2018年11月28日~12月20日

県立座間谷戸山公園 レクチャールーム

2019年1月12日~2月3日

自然公園へでかけよう



環境省箱根ビジターセンター

〒250-0522 足柄下郡箱根町元箱根 164

Tel 0460-84-9981

<http://hakonevc.sunnyday.jp/>

県立秦野ビジターセンター

〒259-1304 秦野市堀山下 1513

Tel 0463-87-9300

<http://www.kanagawa-park.or.jp/tanzawave/>

県立西丹沢ビジターセンター

(旧西丹沢自然教室)

〒258-0201 足柄上郡山北町中川 867-2-9

Tel 0465-78-3940

<http://www.kanagawa-park.or.jp/tanzawave/>

開館日、開館時間等は各ビジターセンターまで
お問合せください。



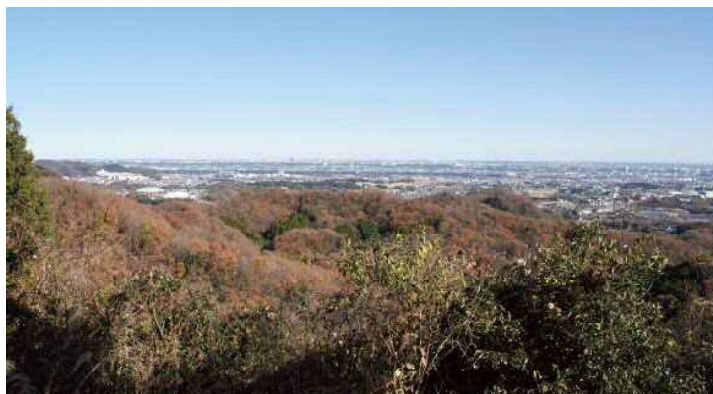
箱根ビジターセンター、秦野ビジターセンター、西丹沢ビジターセンターのFacebook ページ公開中! 是非、最新の情報をご覧ください。

晩秋 大山山麓の古道をあるく 秦野ビジターセンター

県立丹沢大山自然公園の東端に位置する白山（標高283.8m）と、^{むじな}貉坂峠、物見峠を通る標高200m前後の尾根道は、大山・日向・七沢方面から坂東三十三観音霊場の札所の一つ飯山観音に参詣する巡礼者が越えていた古道です。現在は、関東ふれあいの道「順礼峠のみち」として親しまれています。

11月下旬から12月初旬頃、ちょうどこの付近の紅葉が見頃になります。12月中旬頃には、葉を落とした木々の間から大山方面の山並みを伺うことも出来そうです。趣ある峠のベンチからは、澄んだ空気の中、関東平野の街並みも見渡せます。昔の巡礼者が遠くに眺めた平野や林は、どんな景色だったのでしょうか？いにしへの巡礼者に思いを馳せつつ、晩秋の古道を歩いてみませんか。（柳川）

*日暮れが早い季節です。森の中はより早く薄暗くなります。早めの下山を心がけて下さい。



物見峠からの眺め



貉坂峠から白山方面



白山山頂から大山方面

大型台風と森林再生 西丹沢ビジターセンター

今年の台風は大型のまま上陸し、全国各地に甚大な被害をもたらしました。西丹沢でも登山道への影響が大きく、沢を横断する木橋の流失、強風で倒れた木々や折れた枝葉で道が覆われました。

台風に限らず森林は何万年もの間、地震や山火事などにさらされ、その度に再生を繰り返してきました。しかし、人間には「災害」とされるものも森林の維持・再生に必要なこともあります。倒木した後には日影に太陽の光が差し込み、そこで若木が育つことにより世代交代が起こるからです。西丹沢に来ると、年月を経て倒木の上

に苔が生え、その上には新たな植物の芽が育っている様子を見ることができます。

また、森林には「かん養機能」があり、多くの雨水は土壌にしみ込み、貯め込まれることで河川へ流れ込む水の量を調整してくれているのです。その結果、西丹沢ビジターセンター周辺の川は、台風の後にも関わらず清流を保っています。

ビジターセンター周辺の紅葉の見頃は11月下旬です。色づく木々を見ながら森林の中に足を踏み入れて自然の持つ力を実感してみたいはいかがでしょうか？（東海林）



木が倒れることにより地面に光が届く



西丹沢の清流